

議会だより

URESHINO

うれしの

No.26

平成24年7月15日発行

6月議会
ニュースライン



▲元気に泥んこ遊びをする塩田小の子ども達

議会改革で全国3位に	市政に斬り込む(11名が論戦)	政務調査費どう使った	補正予算の中身は
トピックス	一般質問	政務調査	補正予算
P18	P8	P6	P2

発行＝嬉野市議会 編集＝議会広報編集特別委員会

〒849-1492佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769 TEL.0954(66)9127 FAX.0954(66)2887



▲観光戦略を展開する観光商工課

一般会計補正総額で 132億2760万円に

平成24年第2回嬉野市議会定例会は、6月1日から15日まで15日間の日程で開催された。提案された議案は、専決処分(3ページ参照)の承認が4件、条例制定が1件、条例の一部改正が2件、事務組合の規約の変更が1件、平成24年度補正予算が1件の合計9件で、慎重に審議を重ねた結果、原案通り全会一致で可決した。(賛否表は7ページ参照)

今議会においては、11名の議員から一般質問があり、市長・教育長をはじめ執行部への鋭い質問

や将来を見据えた提案が活発に展開された。今議会に提案された補正予算は、3月当初の大規模の補正予算を受けて小規模の補正予算計上となったが、国庫補助金の「社会資本整備総合交付金」(3ページ参照)の決定を受け、財源の充当先の補正も行われた。また、建設工事請負契約の締結(6ページ参照)の承認を求める追加議案が提出され、全会一致で可決した。

4458万円補正

コミュニティスクールの充実など

東アジア観光戦略を展開



▲台湾での観光PR



▲社会資本整備で改修予定の嬉野松児童公園

補正予算の主なもの

歳出の内訳	金額
行政視察誘致パンフレット	82万円
コミュニティ助成事業	500万円
新体系定着支援事業	868万円
東アジア観光・産業戦略事業	66万円
温泉のまち賑わいづくり事業	300万円
住宅リフォーム緊急助成事業	1,820万円
コミュニティ・スクールでの熟議と協働の充実にに関する研究事業	101万円
コミュニティ・スクールの導入促進に関する研究事業	26万円
原子力・エネルギー教育支援事業	9万円
東日本大震災の被災地等への助成事業 ※専決処分	102万円

※詳しい内容はP4・P5に

社会資本整備で 2億2649万円認可

社会資本整備総合交付金

社会資本整備総合交付金として、社会文化体育館建設等に1億6900万円、防災行政無線整備事業に9619万円が計上されたことにより、道路きょうりょう費が390万円、全天候型多目的広場整備費が3250万円、新幹線嬉野温泉駅周辺整備費が180万円減額になった。また、社会文化体育館建設の資金である合併特例債も交付金給付で2億890万円減額された。

社会資本整備総合計画とは

地方公共団体が、自らの地域が抱える政策課題を抽出し、3年から5年の間で実現しようとする目標や、課題の解決のために行う事業等の計画書のことです。

国土交通省の「社会資本整備総合交付金」という補助金を活用し、社会資本整備を推進するためには、「社会資本整備総合計画」を策定しなければなりません。

今回、国へ申請していた「嬉野市社会資本整備総合計画」が九州では嬉野市だけが承認され、向

こう5年間で59億円の交付金が見込まれています。一般会計や合併特例債の事業がこの補助事業に切り替わります。

これまでの個別補助金を一つの交付金にしたもので、自由度が高く創意工夫が生かせる総合交付金として平成22年度から創設されました。

専決処分ってなに？

本来、予算や条例の制定・改正・廃止は議会の議決、承認を受けなければなりません。しかし、軽易な事項や緊急を要し、かつ議会が成立しない場合、又召集する時間が無い場合に限って、市長は議会を通さず決済することができます。

議会を召集する時間が無いかどうかの認定は市長がします。それには、法規裁量としての客観性が求められています。当然、次の議会で報告を行い、承認を得なければなりません。

住宅リフォーム事業に追加予算



▲リフォーム中の住宅

住宅リフォーム 緊急助成事業に

1820万円

問 当初予算の5469万円が4月の受け付け後すぐに終了した。そこで議会からも県の方へ強く要望したので今回追加補正になったと思うが。

答 この事業は県の事業で23年度から25年度まで予定されている。嬉野市もこれに乗せして助成金を出している。今年度は予想を超えて申し込みが殺到し予算が不足した。そこで県も次年度分を前倒しして今回予算化された。

問 今回はどんな方法で受け付けるのか。

答 工事の施工ごとに受け付ける。7月に告知をし、8月に受け付けて抽選をする。9月からの工

事に間に合わせたい。

東アジア観光・ 産業戦略事業に

66万8千円

問 どういう内容か。

答 県に派遣している職員に中国語を習得させ、県の国際戦略グループと連携し、これからの観光戦略事業の専門家として育てたい。先で産業振興部内に「東アジア観光・産業戦略室」を設置する。

問 今後の展開は。

答 これまで力を入れてきた韓国だけでなく、中国や台湾への観光市場の拡大を図りたい。

問 具体的には。

答 今年度は、県に派遣している職員に国内で語学研修を受けさせ、さらに中国での1カ月の短期留

学を予定している。来年度は、遼寧省の瀋陽にある佐賀県の事務所出張させ、現地で実務研修を受けさせる予定だ。

温泉のまち賑わい づくり事業に

300万円

問 この予算は第二笹屋跡地活用のことか。

答 跡地活用を含め温泉街全体の基本構想策定業務を専門家に委託し、「温泉のまち賑わいづくり検討委員会」で話し合ってもらおう。

問 嬉野橋も開通したが今後シーボルトの湯の周辺をどう整備していくのか。

答 「温泉のまち賑わいづくり検討委員会」に地元の若手や業界関係者に

入ってもらい、地元の方々の意見を取り入れる。温泉街の魅力を向上させ観光客の増加をめざしたい。

さかの強い園芸農業 確立対策に助成

229万4千円

問 どんな事業に助成するのか。

答 県の事業で県が190万9千円、市が38万5千円の補助をする。みかん、きゅうり、いんげん、いちご、トマトの各生産組合や部会の会員に土壌水分管理資材やビニールハウス内の循環扇、多層被覆装置などの施設費用である。

行政視察
パンフレット作成

82万円

問 目的と内容は何か。

答 特色ある事業や取り組みを全国に紹介して行政視察を誘致する。市をアピールすることによって市の活性化を図る。内容は平成22年度に作成したパンフレットを基に改良版とし、全国の関係団体に郵送する。

問 郵送先と内容物は。

答 震災地、佐賀県内を除く全国市町村及び議会、自治会、民生児童委員会に観光パンフレットも同封する。

問 活性化を図る具体策は何か。

答 行政視察は市内に宿泊を条件とする。

コミュニティ
助成に

500万円

問 事業内容と財源は。

答 宝くじの社会貢献広報事業を財源に、該当す

るコミュニティ活動に必要な備品を整備する。

問 採択された地区はどこか。

答 久間、五町田、吉田の地域コミュニティが該当となる。

問 具体的な内容は。

答 申請があったグラウンドゴルフ用品、テント、屋外放送設備、液晶プロジェクター、ビデオなどである。

問 本年の単年度事業か。

答 来年度も予定されている。

総合運動公園
駐車場整備

400万円

問 公園内のどの駐車場整備か。

答 建設中の全天候型多目的広場北側の埋め立て地である。

問 整備内容は。

答 今回はバラス等を敷き詰めるだけの仮設整備で120台分を確保する。

問 本格的な工事はいつ始めるのか。

答 正式な工事は25年度

を予定している。その時はトイレも設置するつもりである。

原子力・エネルギー
教育支援事業に

9万7千円

問 原子力発電や代替エネルギーに関心が高まっているが、この事業の目的は。

答 子ども達に火力や原子力による発電とは異なる燃料電池の特性を実験を通じて理解させる。また、簡易霧箱を用いて放射線について正しい知識を学ばせる。

問 実験装置はどのようなもので、どこで使用するのか。

答 燃料電池自動車キットと簡易霧箱実験セットを嬉野中学校に導入する。

コミュニティ・スクール
事業の充実

148万円

問 コミュニティ・スクール事業の目的は。

問 学校と地域と保護者が連携して子ども達を育て、地域とともにある学校づくりを推進する。

問 市内のコミュニティ・スクール指定校は。

答 これまでは嬉野中学校と塩田中学校の2校が指定を受けていたが、今年度は吉田中学校が新たに指定された。

問 予算の中身は。

答 吉田中学校コミュニティ・スクール事業のパンフレット等の作成費用や学校と地域をつなぐリーダーターへの費用弁償等である。



▲地域ボランティア活動している塩田中の生徒達

塩田小を耐震工事



▲耐震工事が行われる予定の塩田小学校

塩田小学校校舎の耐震補強工事請負契約の締結について

市内の小中学校校舎の耐震補強工事の必要な学校は塩田小学校が残っていたが、今議会で工事請負契約の締結について議案を可決した。これにより子どもたちが安全・安心で学習できる環境ができる。

契約の目的	塩田小学校校舎耐震補強工事
方法	指名競争入札
金額	1億3891万円
相手先	中島建設(株)(鹿島市)

今議会で条例改正として5議案の上程があり、いずれも可決した。
●主な条例の内容

表彰条例の一部改正

この条例は嬉野市の市政の発展及び市民の福祉の増進に寄与し、その功績が顕著で市民の模範となる人を表彰することにより、その功績をたたえるところともに、市の自治の振興を促進するものと規定しているが、今回の改正は表彰の枠を従来の個人から団体まで広げられるのである。

印鑑条例及び手数料条例の一部を改正する条例

この条例は国の制度である住民基本台帳法の改正および外国人登録法の廃止に伴う条例変更であり、改正理由は年々増加している外国人登録に伴う住民基本カード、印鑑登録が一本化への移行が簡素にできるよう改定するものである。

政務調査費の実績

(単位：円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
研究研修費	287,895	912,560	577,380	1,557,220
調査旅費	1,362,885	853,000	623,245	226,000
資料作成費	235,700	360,697	152,669	0
資料購入費	1,131,290	919,803	1,496,217	1,249,236
広報費	165,756	296,066	0	0
広聴費	0	0	0	0
人件費	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0
その他経費	2,014,174	1,453,593	339,922	165,002
機器リース	1,713,156	1,060,380	251,748	97,768
接続料	188,952	161,599	0	0
消耗品	112,066	231,614	88,174	68,234
合計	5,197,700	4,795,719	3,189,433	3,197,458
支給額	5,040,000	4,980,000	4,320,000	4,320,000
返還額	500,199	539,785	1,183,666	1,172,359

農業委員に

馬場・平野・辻氏を推薦

農業委員会は、農業者の利益代表機関であり、農地の権利調整や農業経営の合理化、耕作放棄地の

委員定数 27人以内
 選挙により
 農協推薦 1人
 農業共済推薦 1人
 土地改良推薦 1人
 議会推薦 3人

農業委員の3年間の任期が24年7月19日で切れることに伴い、議会選出枠3名の中で、議会より平野昭義議員・辻浩一議員、女性枠として馬場みどりさんを推薦した。

議会選出 農業委員決まる



馬場みどりさんは塩田町久間出身で過去JA農協婦人部長などされ、JA全国大会で体験発表された実行力に優れた方です。



馬場みどりさん

調査及び農地の復元など農業に関するいろいろな問題について対応していきます。また、農業委員会は農政の普及推進を図る大きな役割を担っています。

平成24年第2回定例会議案賛否表

議案番号	議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		辻浩一	山口忠孝	田中平一郎	山下芳郎	山口政人	小田寛之	大島恒典	梶原睦也	園田浩之	副島孝裕	田中政司	織田菊男	神近勝彦	田口好秋	西村信夫	平野昭義	山口要
議案第35号	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度嬉野市一般会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	嬉野市印鑑条例及び嬉野市手数料条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	嬉野市表彰条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	嬉野市平成24年度一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	建設工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3	基地予算の増額を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日程第4	農業委員会委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

お込り斬りに

11名が質問

給食センターの統廃合はやるべきでない。

山口政人議員

答 平成25年度を想定している。



そういった住民合意をどう図るのか。

市長 それぞれの関係機関と十分協議し市民の方へ説明をしながら、この事業については推進していきたい。

教育長 給食センター運営協議会で議論をお願いし、その後、学校、PTA、納入組合の方等に説明していきたい。

の節減ではなく、こういったことにこそお金をかけるべきではないか。

教育長 今後、子どもたちの数の減少が続くこともあるし、1カ所で安全、安心な給食を作るのは、食の安全を保つ上で理想的ではないかと思ってい

その他の質問

- ・ 社会資本整備交付金について
- ・ 各種審議会等について

る。

いままでも、地産地消に取組んでいるし衛生面も研修会等もやっているのに質が落ちるといふことはないと思う。

山口 第二次行財政改革実施計画の中に給食センターを平成25年度統合実施とあるがどこをどのようにするのか伺う。

教育長 児童・生徒の数の減少傾向が進んでいるので嬉野の給食センターを一部改良して給食の提供をしたい。

山口 塩田の給食センターはどうなるのか。

教育長 今後売却するか、あるいはどのように活用するのか、今後検討していきたい。

山口 今後どんな関係機関とどのような協議をするのか、今働いておられる調理員の雇用と確保、納入組合をどうするのか、

山口 学校給食というのは、学校に近いうちで作って、少しでもおいしい給食を子どもたちに食べさせてあげることが、センターの統廃合はすべきでない。費用対効果といった効率のみを給食に求めるべきではないと思う。

統合すれば食中毒等の事故が万が一起こった場合、被害が大きくなるし、郷土食等のメニューもできにくくなる。子どもの安全、健康第一で、経費



▲どうなる、塩田町給食センター

お茶の間で議会を



- ・インターネット中継・録画放映
- ・有線テレビ放映

(放映については議会事務局にお尋ねください)



いっばん質問

平野 今回、第二次行財政改革大綱の実施計画に建設からわずか9年しか経過していない塩田町学校給食センターが、25年度(来年)統合し、売却計画として示されている。



給食センター(塩田)売却計画は削除せよ

平野昭義 議員

答 実施計画で説明し推進したい

この計画に塩田町民は激怒している。当時の地権者は、先祖から受け継がれてきた貴重な財産を子どもの給食事業に貢献することに、苦渋の想いで手放されている。

地権者と塩田町民に対する暴挙であり、計画案は削除せよ。

市長 市民代表の委員に検討していただいた。実施段階において市民に理解をいただくよう説明を行い、推進していきたいと考えている。

教育長 経費削減や事業の見直し等について喫緊の課題と思ひ、一本化を図りたいと考えている。

平野 先程の同僚議員の

調査内容を聞くと、委員会が発言をする人は余りなく、委員会は形骸化していないか。また、市長は当時の地権者に会われたのか。

市長 塩田町の時代に購入されているので会っていない。

平野 地権者は、作っていた田んぼなので、わずか9年で売却するならば元の田んぼに戻して頂きたいと憤慨されている。嬉野のセンターは市有地である。塩田町をセンターの本拠地に考えられないか。

教育長 嬉野に1カ所を想定している。内容は給食数の違いと経費の問題



▲給食準備に励む職員さん

である。
平野 合併時に調印したのは塩田が本庁。機構改革で各庁舎方式に変更。更には給食センターまでの計画案は身勝手なこと。余りにも急ぎ足で提案されることはどうかと思う。

その他の質問

- ・久間北部公園進入路について
- ・国道498号線(南下久間)「信号機」の右折帯による渋滞解消について

庁舎の一元化の検討を図るべきと思うが

副島孝裕 議員

答 将来の課題と考えている



副島 第二次行財政改革大綱の取組内容及び実施計画について「公衆浴場の指定管理への移行」と「図書館業務の見直し」を問う。

市長 シーボルトの湯に

については、来年度から指定管理による運営を行う。公募をするが、法人格等を持ったところ、浴場経営の知識を持ったところの応募があると思う。

教育長

図書館については、26年度を目安に検討を終了し、27年度から指定管理または民間委託をする予定で答申を受けている。今後、運営方法等について検討したい。

副島

新たな行政課題や時代のニーズに対応し得る組織とすることが目的であるならば、人員配置の見直しと共に、庁舎の一元化の検討を図るべきと思うが。

市長 庁舎の一元化は将来の課題と考えている。

現在の人員計画では、合併後10年間で49名の削減計画を進めている。両事務所とも収容能力について課題があり、次の10年間の必要職員や業務量を再検討し直して、庁舎の将来像の検討をしていかなければならないと思う。

副島

給食センターについては、20年度を目標に民間委託が計画されてお



▲平坦地での農作業

平坦地農業をどう思う

織田菊男 議員

答 農業の柱として期待している



織田 農業は生き残るために特産物が必要である。特産物を作るためには地域の皆さんの認識が必要となってくる。まず、最初に地産地消を考えるべきではないか。

市長 様々な取り組みを進めている。食改協でも積極的に行われるし、学校給食その他についても意見を聞き、できるだけの取り組みをしている。

嬉野温泉湯豆腐は嬉野産大豆を100%使用して地域ブランド化したもので、全農の安心・安全システムの中に組み込まれ栽培履歴が残るようになっていく。

織田 農業従事者の高齢化対策及び後継者対策についてはどうするのか。

市長 高齢者対策としては、各地区では国の制度は、各地区では国の制度資金を利用し地域全体で対応されている。高齢の方も地域の貴重な戦力として活躍されることを望んでいる。後継者対策としては国も地域を支える人材として制度がある。相談事業など行い、農業への意欲を醸成する。規模拡大については、技術面での援助、資金面での支援が必要と考えている。

農林事務所や普及センターなどと協力して支援体制を作る。

織田 嬉野町では大麦若

葉の栽培が行われている。今年よりハーブのエキナセアの栽培がはじまった。これは平坦地で栽培できるか。

市長 大麦若葉は原料もすばらしかった。いろんな所と比較して加工技術も非常に高いと評価が出ている。今の状況のものが生産できると、産地として頑張つてほしいとの意見がある。

塩田地区は麦の生産に本格的な実力をもっておられるので、できたらそのような技術を生かし、大麦若葉でも頑張つてもらいたいと考えている。大麦若葉は途中ですべて刈り取るので、収益の問題や近隣との調整、また、排水の問題などあるが、全市的に取り組んでもらえたらいいと思う。



▲庁舎一元化された白石町役場

り、委託化も実施されな
い中で、今回の統合計画
の整合性について伺う。
教育長 19年度で嘱託職
員の契約が切れるのを機
に、給食業務全般の民間
委託を検討したが、委託
費用が割高になり実現で
きなかった。今回の答申
では、2つのセンターの
統合により人員配置の見
直しを含め、事務事業の
合理化により経費の削減
が見込まれると思う。

余剰財源が生じてくると
思う。今後予想される大
型事業、特に庁舎の一元
化などの財源確保のため
の基金積立等の考えはな
いか。
市長 基金積立について
は積極的に行うように指
示をしている。合併特例
債の積立運用はできない
が、償還できた範囲での
ソフト事業については可
能である。将来の嬉野市
づくりに必要な財源は、
しっかりと見込みをつけ
地域振興に努力をしたい。

うれしの茶の課題と 方向性は

山下芳郎 議員

答 関係者の協力が必要である



山下 嬉野茶は栄えある
農林大臣賞・産地賞を3
年連続で受賞したが、今
年も生産者価格は低迷し
特に主産地である嬉野地
区が厳しい状況が続いて
いる。2年前の一般質問

で提案した生産者・茶
商・行政が一体となった
推進協議会の設置はその
後、進んでいるのか。
企画部長 組織の充実を
図るよう事務引き継ぎを
した。

市長 嬉野茶は全国での
シェアは非常に小さいの
で、先人から受け継いだ
嬉野茶をしっかりと確保し
ていけば、今の生産量で
も十分やっていける。

山下 西九州茶連は設立
当初より閉鎖的で、需要
と供給のバランスは役割
を果たしているのか見直
す時期ではないか。

市長 嬉野茶の発展に大
きく寄与していると思う
ので、関係者がお互いに理
解し、協力頂きたい。

山下 嬉野地区で生産さ
れた製品は、原産地呼称
として「佐賀県嬉野産」
と表示する事で「うれし
の茶」ブランドが守られ
るのではないかと。

市長 原産地呼称は表示
法もあり勉強する。

**原発の今後と再生可能
エネルギーの推進を**

山下 市長は即脱原発の



▲西九州茶連の入札風景

考えと聞くが、それなら
ばもっと積極的に意思を
表明すべきではないか。

今後の課題は新エネル
ギーの確保であり、嬉野
独自の自然を生かした研
究と世界に向けて英知を
受け入れるために発信す
べきではないかと。

市長 岩屋川内地区で小
水力発電を研究する。県
が吉田地区にメガソーラ
ーを候補地として、その
他2つのダムの水力発電
活用も検討中である。

山下 太陽光発電は即効
性が図れるが、市の施設

を利用し売電することで
歳入に充てられないかと。
また、市が導入するこ
とで市民への普及促進を
図れないか。

市長 電力の購入価格、
安定供給など課題もある。

山下 電力小売り自由化
の流れでコミュニティな
ど集落単位での発電、売
電の可能性も出てくるの
ではないかと。

市長 コミュニティの存
在を生かして、お互いに
補完することも含め、こ
れから研究課題とする。

野良猫対策の条例制定を

梶原睦也 議員

答 先進地を調査したい



梶原 道路や公園など犬の糞が散乱しているところがあるが、その対策は。環境下水道課長 たびたび苦情があつている。犬の予防接種等のときに飼い主に指導をしている。



▲徘徊する野良猫

梶原 基本的には飼い主のマナーに任せるしかない。佐賀市や伊万里市では飼い犬の糞防止の条例を制定しているがどう思うか。

市長 条例化については勉強する。

梶原 猫に対する苦情は糞尿被害、鳴き声被害、敷地内や物置等で子どもを産むなどがあるが、本市の現状は。

環境下水道課長 そのような苦情はきています。

梶原 飼い猫と野良猫の区別がつくよう飼い猫に

は名札をつけるようにできないか。

環境下水道課長 研究はしたい。

梶原 野良猫も元をたどれば飼い猫から生まれたものがほとんどだ。他自治体でも実施しているところもある。不妊去勢手術に助成金をだして野良猫を増やさないようにしたり、むやみに餌を与えたりしない等の規制を盛り込んだ独自の条例を制定すべきではないか。

市長 先進地の条例による効果について調査した

スポーツ合宿等誘致をどうする

辻浩一 議員

答 今後努力したい



を立ち上げ、既存施設については、できるだけ早く補修できるものは補修をして使えるようにしていきたい。

辻 市内に学校以外の武道場がない。どう考えるか。

市長 私も何とか実現をしたいと考えているが財政的に厳しい。嬉野中学校の武道場が2・5倍になるので、一般の方の利用ということでご了解頂きたい。

辻 大会の規模によっては嬉野中学校の武道場を利用できると思うが、大きな大会では試合場が足りない。嬉野市体育館の改築の構想があるなら、取納庫を設置し畳を常備した多目的な体育館にしてほしい。

市長 資材をどうするかになるので、意見を参考に研究したい。

辻 競技場の充実とともに観客席のキャパも必要となるので、多目的に利用できる施設を念頭に計画をすべきである。

結婚支援をどうする

辻 結婚支援の行事の中でセミナーとは何か。

地域づくり・結婚支援課長 サポーターに対する支援に関するセミナーと、一般希望者に対するコミュニケーション等に関するセミナーである。

辻 以前からお見合いのイベントは数々あったが、私はお見合いをする前にカウンセリングなど、結婚に対する強い思いを持つていただくような、前段階が必要だと考えていた。是非、そういった部分を充実し、それからお見合いに臨む形にしておくことを要望する。



▲トイレが欲しい湯宿広場

園田 湯宿広場に、なぜ設計の段階でトイレの設置をしなかったのか。
会計管理者 スペースが取れないので、トイレの設置は断念した。
園田 あの場所にはトイレは必要であると確信するがどうか。
観光商工課長 観光協会や商工会の中で市街地再生の話が出ており、全体的な整備を見ながら検討していきたい。
園田 市民サービスに向

けて、湯宿広場かシーボルトの湯に温泉スタンド等を設置できないか。
観光商工課長 県の薬務課等と話し合いをしながら考えていきたい。
都市公園のトイレ設置 どうなる
園田 以前、第七区画のはなみずき公園にトイレが必要であると質問した。その時は区画整理事業の期間中だから設置できないという答弁には理解を

示した。しかし、現在は子どもたちもたくさん遊んでいるし、年輩の方のグラウンドゴルフやゲートボールなど利用者が増えている。
 土地区画整理事業は前年度で完了し、新年度の予算、6月の補正にも計上されていない。設置できない理由は。
市長 できるだけ早く設置するよう検討させており、遊具についても、危険性があるものについては問題があるが、簡単で安全なものについては幾らかは設置できると考えている。
土曜日開校の考えは
園田 今年度から新学習

指導要領の全面実施に入っている中で、授業時間の確保が困難であることを理由に、大都市圏はもとより全国的に土曜日授業を実施する自治体が増加することが予想される。当市においても土曜日授業と、それに伴って2学期制から3学期制に戻す検討をすべきだろうと思うが。
教育長 現段階において土曜日の開校を積極的に進める姿勢はない。むしろ、2学期制を先行導入していたことが、功を奏したのではないかと考えている。



温泉スタンドは設置可能か

園田浩之議員

答 薬務課等と話し合い考えていきたい

い。
梶原 野良猫や野良犬が敷地内で子どもを産んだ場合はどうすればいいのか。

環境下水道課長 環境下水道課に連絡があれば対応する。

梶原 猫対策についてはまず、野良猫が増えないような対応が必要だ。

市長 規制ができるものについては規制をする。
特定検診での聴覚検査を導入せよ

梶原 認知症と難聴は深くかかわっているといわれる。
 耳の聞こえが悪くなる過程で社会的参加がしづらくなる。また、家庭内

でも孤立し、閉じこもりたり、うつになったりし認知症に発展するケースもある。特定検診の中で難聴検査を導入し高齢者の難聴を予防すべきだ。

市長 難聴が認知症の発症にどの程度影響しているのか勉強し、専門医の意見を聞いた上で判断したい。



▲天井が低い嬉野市体育館

「要介護認定者」の障害者控除認定対象者は

西村信夫 議員

答 350人程度が認定の可能性



西村 身体障害者手帳を
持たない65歳以上の方で、
要介護認定を受けている
方の「障害者控除対象認
定書」発行申請数は。
市長 毎年2、3件程度
の申請があつている。

西村 要介護認定者で障
害者控除の適用を受けら
れる対象者数は。

市長 660人程度であ
る。その中で350人程
度が認定の可能性が高い
対象者である。

西村 制度の広報はどう
か。

市長 広報は18年にして
以来なので不足している
と感じている。今後、本
人にも直接伝わる方法で
お知らせしたいと考えて
いる。

西村 障害者控除認定基
準が自治体間で統一され
ておらず、嬉野市は他の
市町と比較して障害判定
区分が過小評価の傾向に
あるのではないか。

市長 嬉野市は杵藤介護
保険事務所管内で統一し
た基準で要綱を定め実施
している。

西村 全国的には要介護
4・5は特別障害者に認
定されているが、実態は。
健康福祉課長 杵藤介護
の圏域は主治医の意見書
に基づき認定している。

塩田中学校建設について
西村 学校・PTAなど



▲早く診断したい桜並木

桜並木の衰え どうする

山口 要議員

答 今年度診断する



山口 嬉野川周辺に植栽
されている桜並木に樹勢
の衰えがみえる。どのよ
うにみているか。
市長 傷んでいるのが見
受けられるので、今年度
に樹木医に診断をお願い

したい。

山口 枯れてからでは遅
いので、今のうちから市
民に呼び掛けて植栽して
いくことを考えては。

市長 市民の方のご協力
を頂くことは、素晴らしい
ことと思うので、いろい
ろな計画を考えたい。

「本人通知制度」の
導入を図れ

山口 戸籍謄本や住民票
の写しが第三者に取得さ
れたことを本人に知らせ
る「本人通知制度」の導
入に向けての考え方は。

市長 県内ではまだ導入
されていないが、既に法
では認められているので、
今後導入することを目指
して検討していく。

「健全財政条例」を
制定せよ

山口 地方財政が益々厳
しくなるなかで、よりシ
ビアな財政運営を行うた
めの指針として「健全財
政条例」の制定に向けて
検討してはどうか。

市長 本市は依存財源が
60%を超えているなかで、
常に現在と将来の財政健

全化をとらえながら努力
をしたい。条例について
は先進地の事例も参考に
しながら研究をしていく。

職員業務改革の検討を

山口 職員の担当業務ご
とに、毎日どの程度の時
間を掛けるのかを記録す
る「作業管理シート」の
導入を検討しては。

市長 職員の能力が均等
に上昇していくことが必
要と考え、職員の研修を
進めている。加えて業務
適応効果を推進すること
が求められるので、「業
務管理シート」について
は検討を指示する。

山口 民間企業の改革、
改善手法である「ベンチ
マーキング」について調
査・研究してはどうか。
市長 業務改善の手法と
して研究していく。

マラソン大会開催は

山口 今リレーマラソン
がブームである。本市で
開催に向けての考えは。
市長 委託料などの課題
は生じるが、検討できる
のではないかと考える。



▲介護に励む施設職員さん

に建設計画、安全対策など話し合いが行われたか。
教育長 早い時期に説明を行い、納得いただき工事に取り掛かる。
西村 工事期間中グラウンドの使用ができないが部活動への影響は。
教育長 中央公園は塩田中学校の授業、部活動を優先的に考えている。

畜産公害（水質汚濁・悪臭）の対策は

西村 水質・悪臭測定調査の結果は。

環境下水道課長 特定悪臭物質の発生源は畜産事業所からの物質で、臭気は花火の臭いとトイレの芳香剤の臭いの値で察に感知できる臭いである。また、水質は大腸菌群及び窒素・リン酸塩等も高く汚濁があり、河川の底には有機物が堆積している。
西村 悪臭、汚濁が消えるような対策は。
市長 県の保健所と十分協議しながら、業者の方にもお願いする。

川の南側に憩いの施設を

神近勝彦 議員

答 観光協会に伝え、協議してみたい



神近 温泉街の中心には多くの施設が整備された。また、第二笹屋跡地も今後整備される。しかし、川の対岸である南側には、憩いの施設がない。なかか施設が必要でないのか。

市長 回遊性とか求めて歩道整備もおこなった。今、特にどうこうというのはないが、全体の地域にそのような施設ができればと考える。ただ、観光協会としては、総会のなかで本通りの再整備を進めていきたいとの提案もあっており、議員の提案については観光協会に伝え、南側の旅館街との連携などについて協議をしてみたい。

神近 各旅館は生き残り賭け、一生懸命努力されている。本通りに行くのはいいが、周辺に何かあればもつと良くなる。市が所有するお湯管がないので、足湯などは無理であると理解しているが、音楽とLEDなどの光の色などを利用した噴水は良いと思う。

社会文化体育館のランニングコストは

神近 ランニングコストの削減が一番の課題である。予想されるコストはどの程度か。

市長 嘱託職員を2名配置したと仮定して、ホー



▲川の南側にも欲しい憩いの施設（湯遊広場）

ルに1200万円、アリンナに1千万円の合計2200万円と見込んでいます。

神近 社会教育課をおけば人件費の大きな抑制ができるのではないのか。

市長 中央公民館の管理とも関係があるので、両方うまくいく管理の方法を検討したい。

神近 指定管理者委託はどう思っているのか。

市長 できるだけ早く移

行したいが、当面はトブルなども考えられるので直接運営でおこなう。

神近 地熱を利用することで、空調関係の経費を抑えるとのことだったが、どうなっているのか。

企画企業誘致課長 光熱水費の合計は750万円程度である。

地熱が反映されているか確認できていない。

基地対策予算の増額等を求める 意見書を採択

内閣総理大臣

総務大臣

財務大臣

意見書(要旨)

基地関係市町村は、長期に渡る景気低迷による地域経済の著しい疲弊や、基地所在に伴う特殊な財政需要の増大などにより大変厳しい財政状況にある。よって基地交付金及び調整交付金はこれまで3年ごとに増額されている経過を踏まえ、基地交付金の対象資産の拡大することや、基地周辺対策経費の所要額を確保するとともに、各事業の補助対象施設及び範囲の適用基準の更なる緩和を図ることを要望する。

衆議院議長

参議院議長

防衛大臣

以上の機関に送付しました

嬉野市鉄溝工業会

会長 福田文夫

地元の建設業者を下請け業者にする陳情

佐賀県社会保障推進協議会

会長 野田義隆

「社会保障と税の一体改革」の中止を求める要請

佐賀県社会保障推進協議会

会長 野田義隆

原発からの撤退を求める要請

玄海原発プルサーマル裁判の会

代表 石丸初美ほか15団体

市民を守るために九州電力との安全協定の締結を求める陳情書

地球社会建設決議に関する陳情

横浜市

荒木 實

皆さんの要望伝えます



▲改良したい市道小杭線

「社会文化体育館」建設について管工事組合の分離発注と、地元業者優先発注に関するお願い

嬉野管工事協同組合

理事長 山中岩男

嬉野大型プロジェクト工事発注に伴う地元業者への優先氏名に対する陳情

嬉野市商工会会長 小原健史
塩田町建設業協会会長 大川内政幸
嬉野町建設業協同組合 理事長 小川辰弘

市道子抗線の道路改良に関する要望

嬉野市嬉野町岩屋川内清水

田中要次郎

知っていますか
**請願・陳情の
 出し方**

- みなさんから議会に要望などを伝える方法として、文書による請願や陳情書の提出があります。
- 提出にあたっては次の事項に注意してください。
- 請願や陳情書には要旨と理由を簡単に、わかりやすく書いてください。
- 請願書は一人以上の紹介議員が必要です。
- 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- 道路等は簡単な地図(略図)をつけてください。
- 請願や陳情書のメッキリは定例会開会の六日前までです。

各地域コミュニティとの意見交換会を開催

画員会
企委
務任
総常

嬉野市内の7カ所で運営協議会が立ち上がった地域コミュニティについて、会長・事務局長と設立までの経緯や現状の問題点の把握などを認識するために、それぞれの活動状況と課題などの意見交換会を行った。

委員会の意見

各コミュニティにより抱える課題も違うが、共通した課題として、
・ コミュニティの大切さを伝える方法が難しい
・ 次代に繋げる後継者の問題
・ 市の職員また議会との



▲地域コミュニティの役員より要望を受ける委員会

かかわり方など多くの意見が出された。
東日本大震災以降コミュニティの大切さを理解し、市としても市民に対する啓蒙啓発を行い、人的また資金の支援など軌道に乗せるために積極的にサポートして行くべきと考える。

産建業 設常員 委

これからの農業政策について



▲JA役員と意見交換する委員会

嬉野市の農業を取り巻く現状は厳しいものがある。そこでこれからの農業政策を考えるためにJAの理事及び各部会の代表者と意見交換をおこなった。

委員会の意見

嬉野の農業の問題点として、全ての作物において所得の低迷による後継者不足が第一にあげられ、農家の所得向上が計らな

ければ問題は解決しない。全国的に六次産業化が推進されているが、嬉野市でも農業と観光を結びつけた産地直売所などの充実を図ることも今後の政策の一つと考える。

また、嬉野ならではのブランド品を生産し、宿泊施設や飲食関係の施設に利用してもらい、市場価格に左右されない販売方法で農家の安定した所得向上に努めるべきである。

健康増進の先進地を視察

生員会
厚委
教任
文常

「人にやさしい街づくり」を推進している嬉野市は、健康増進のために予防・検診など先駆的取り組みを行っているものの受診率の向上は厳しい状況にある。また、市財政にとつて高齢化による医療費等の増大も大きな課題であり、今回、先進的に健康増進事業に取り組まれている福岡県久山町を視察した。

つても暮らせる地域づくりに取り組まれている。本市においては同じ状況にあり取り組みを急ぐべきである。

委員会の意見

久山町は一次予防より早い時期から対応できるゼロ次予防に重点がおかれている。また、これからの健康づくりとして脳卒中や心疾患、ガン、認知症等のゼロ次予防と認知症にな



▲久山町で研修する委員会

議会改革度 ランキング

嬉野市議会の 堂々の全国3位

全国810市・特別区地方議会改革度調査

議会改革度全国ランキング

総合順位	自治体名	都道府県名
1 (9)	流山市	千葉県
2 (84)	鳥羽市	三重県
3 (9)	嬉野市	佐賀県
4 (148)	四日市市	三重県
5 (108)	上越市	新潟県
6 (8)	所沢市	埼玉県
7 (39)	取手市	茨城県
7 (74)	加西市	兵庫県
9 (299)	名古屋市	愛知県
10 (80)	亀岡市	京都府

※()内は前回順位

議会改革度ランキング (県内)

	全国 順位	広報紙 の発行	議案賛否 の公表	対話 集会
嬉野市	3	○	○	○
鹿島市	20	○	○	○
佐賀市	51	○	×	○
多久市	216	○	×	○
鳥栖市	334	○	×	○
伊万里市	412	○	×	△
小城市	458	○	×	△
神埼市	477	○	×	×
唐津市	541	○	×	×
武雄市	729	×	×	×

日経グローバル調べ

嬉野市議会は、地域研究専門誌「日経グローバル」が全国810市・特別区で行った地方議会改革度調査で3位にランクインしました。

今回の調査は市民参加の仕掛け、議会運営改善情報公開度の3分野で81項目にわたり審査されました。

嬉野市議会では、一般質問や議案質疑での一問一答方式の採用や議員同士の自由討論、議会のネット配信、議会だよりの

発行、加えて議員個人の賛否をホームページと議会だよりで公開しています。また、市民が議会に請願内容を直接説明する機会を設けたりするなど住民参加型の議会運営に努力しています。

これらのことについて、日経グローバルは「全体のバランスもとれ、議会の広報紙も読みやすく工夫されている、努力の跡がうかがえる」と評価されました。



▲議会だよりに編集に取り組む議会広報編集特別委員会

議会広報編集特別委員会

委員長	副委員長	委員
小田寛之	山下芳郎	山口要
平野昭義	織田菊男	副島孝裕
梶原睦也	山口忠孝	

地球の誕生は46億年前太陽系惑星として誕生。多量の水・窒素・酸素は万物の命を宿し、自然界は恵みと災害の歴史を繰り返してきた▼わが国は、(春夏秋冬)四季折々の素晴らしい自然の恵みを受けている▼2011年3月、日本は未曾有の大津波と原発による大災害を引き起こし安全神話は崩壊。大津波と原発事故による放射能飛散のニュースは、即日、全世界を恐怖に陥れた▼ドイツ・イタリヤは脱原発を宣言。神が授けた、かけがえない地球を守るのは、人類に与えられた責務である。わが国は率先して、美しく青い惑星を永遠に守る声を挙げるべきではないか。(昭義)